

# 被災地の復興・再生に向けた農林水産省の取組

令和 2 年 8 月  
農林水産省

# 大規模で労働生産性の著しく高い農業経営の展開

- これまで行ってきた被災農業者への支援等によって、引き続き営農再開を推進。
- 加えて、担い手不足が顕著、不在地主化が進んでいる条件の悪い農地、農業労働力の確保が困難な中で、**大規模で労働生産性の著しく高い農業経営**（土地利用型農業、管理型農業）を展開する必要。
- こうした農業経営の展開に向けては、一筆一筆の土地利用調整が必須であるため、関係機関が連携して**チームを編成**し、各市町村における地域の**農業ビジョン等の作成**を支援。

## 土地利用型農業と管理型農業を核とした営農再開

【従来】これまで行ってきた被災農業者への支援等によって  
引き続き営農再開を推進

+

【今後】

### ○ 土地利用型農業

- ・ 生産から加工に至るまで、機械・施設の整備を支援  
(企業による営農再開も対象)
- ・ ロボットトラクタ、収量コンバイン等のICTを活用した  
大規模で労働生産性の著しく高い農業の実現

### ○ 管理型農業

自動で、温度、CO<sub>2</sub>、水分等を管理できるICTを活用した花き栽培など  
風評にも強い施設園芸等の横展開

## 福島県の農業の未来像



+

現在営農再開している事例のように、地域の農業ビジョン、人・農地プラン等の土地利用調整が必須

+

各機関が連携

農林水産省

福島県

農地バンク

市町村

福島相双復興推進機構

JA

# 原子力被災12市町村への人的派遣（国）

- 国は、原子力被災12市町村に対し、農政局からの職員を基本に、**1名ずつ派遣**。  
また、地域の実情等を踏まえ、浪江町と飯館村に、農業土木職員を出向。
- 技術職員5名等からなる**サポートチーム（14名）**を設置。技術職員の事務所は富岡町に設置。

## 市町村担当チーム

担当職員を配置し、営農再開のビジョン作りから具体化までを推進

### 農林水産省

- 営農再開を加速化するため、農政局からの職員を基本に、1名ずつ職員を派遣  
(田村市、南相馬市は出向。ほかは駐在)
- 基盤整備について、12名とは別に、地域の実情等を踏まえ、浪江町と飯館村に、農業土木職員を派遣（出向）。

### 福島県

### 市町村農業担当職員

JA（JA福島さくら、JAふくしま未来）

### 農地利用最適化推進委員

## サポートチーム（富岡町、いわき市）

必要に応じたオンサイトサポートを実施

### 農林水産省（課題に応じ、対応できる人員を配置）

- 技術職員（農学、農業土木）5名等からなる**合計14名**のチームを構成。
- 12市町村と県、JAとの連携を考慮し、**技術チームの事務所を新たに富岡町に設置**。
- さらに、畜産、用地、農地中間管理機構、農業土木の知識を有する職種の東北農政局本局職員4名を兼務させて配置。

### 福島県農林事務所（事業担当及び普及担当）

### JA

### 福島相双復興推進機構



支援

# 広域的な高付加価値産地の形成による営農再開の加速化

- 営農休止期間が長期化する中で、再開の担い手の確保が極めて重要な課題。
- 再開未定の農業者、地域外からの参入者や新規就農者を呼び込むことが重要であるが、そのためには地域の特性を生かした魅力ある農業の展開が不可欠。
- 現在の再開に向けた取組は市町村単位であり、個々の経営体による点的な再開にとどまっているところ。
- 集出荷体制や販路を確保するためには、販路等を有した実需者との連携のもとで市町村域を超えた広域的な取組の展開が不可欠。

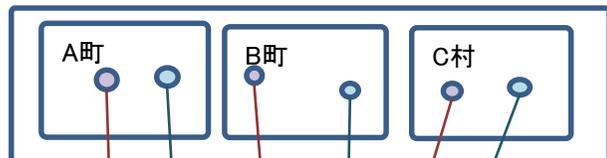
## 現 状

H31年度末営農再開率約32%

担い手の確保が重要な課題

市町村単位の取組で  
個々の経営体が再開(点的)

出荷体制の構築や販路確保に向けた  
ロット拡大が重要な課題



集出荷コスト×  
販路の確保 ×

地域外の市場・実需者

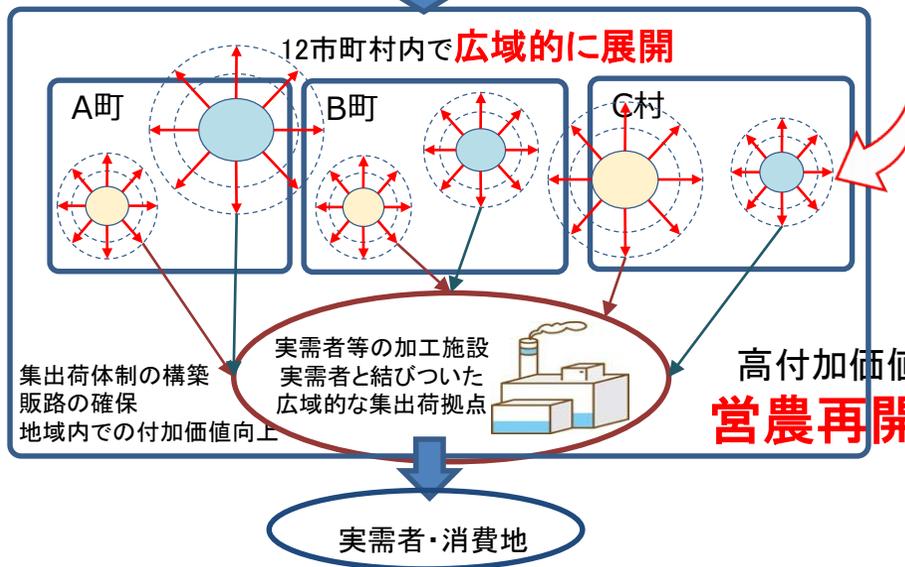
## 対 応 方 向

広域的な高付加価値産地構想

12市町村の特性を活かした農業

販路等を有する実需者・民間事業者

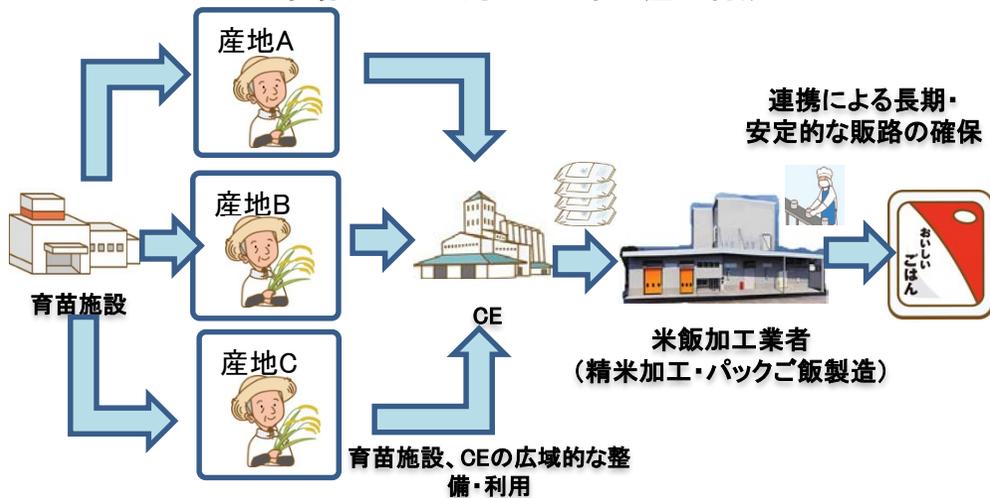
魅力と活力に溢れた新しい農業



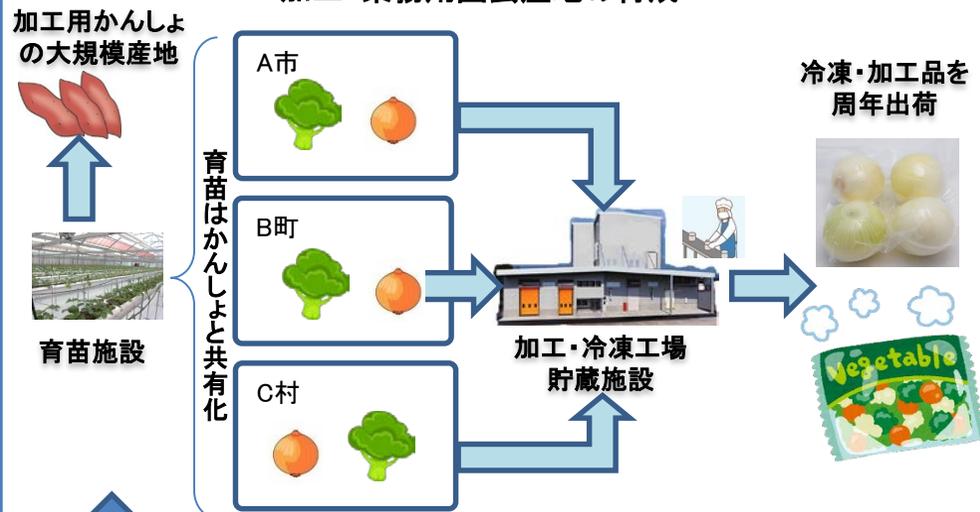
地域外から参入する  
農業者・新規就農者  
再開をためらう  
地元農業者

# 広域的な高付加価値産地のイメージ

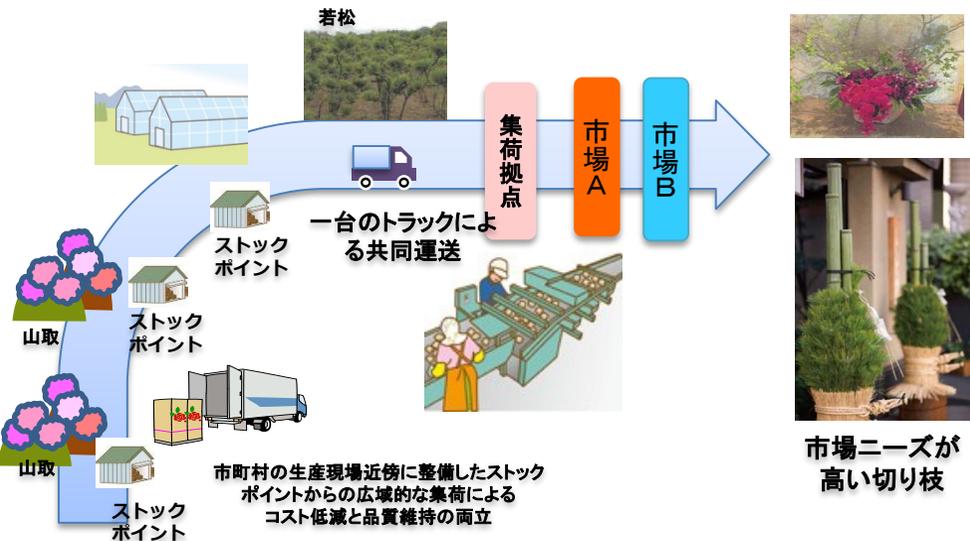
## 広域JAと米飯加工業者との連携による 市場ニーズに対応した米生産の育成



## 加工・業務用園芸産地の育成



## 中山間地域に適用可能な切り枝産地の育成



## 酪農と結びついた福島県産牛 地域内一貫生産体制の構築

